



## むらさきの夏の味覚楽しむ

園児らがブルーベリー摘みに挑戦



ブルーベリー摘みを楽しむ園児たち

有限会社花雅(幸野)、宇川ブルーベリー園(五十軒)、浅野茂さん宅(打越)のブルーベリー畑で、町内の幼稚園・こども園の園児らがブルーベリー狩りを楽しみました。

7月30日、花雅のブルーベリー畑では、さくらこども園の3～5歳児41人がブルーベリー摘みに挑戦。「おいしい」「甘い」とブルーベリーをほお張りながら、摘んだブルーベリーをおみやげ用の袋に入れました。摘み終わると、園児たちは袋いっぱいに入った紫色の実を満足げに眺めながら「こんなにたくさん採れた」「パパとママに食べさせてあげたい」などと話していました。

## 納税制度の普及活動に感謝

常盤嘉一さんに県知事感謝状贈呈



左から石井振興局長、常盤さん、大川原副町長

町納税貯蓄組合連合会の会長などを務める常盤嘉一さん(樋ノ口)への納税功労者知事感謝状伝達式は8月1日、町役場応接室で執り行われ、石井浩県会津地方振興局長から感謝状が手渡されました。

この感謝状は、町納税貯蓄組合連合会会長のほか、会津若松地区納税貯蓄組合連合会の副会長、県納税貯蓄組合連合会の理事を務め、納税制度の普及や県税の納税に寄与したことに対して贈られたもの。常盤さんは「これを糧に、今後も税に関する啓発をしながら、誠心誠意取り組んでいきたい」と話しました。

## 英霊800余柱の冥福を祈る

戦没者追悼式と慰霊祭が催される



献花をして英霊の冥福を祈る前後町長

町戦没者追悼式は8月3日、町体験交流館学びいなどで執り行われました。式には遺族連合会会員や来賓など約160人が出席、国歌斉唱の後、黙とうをささげ、先の大戦で犠牲になった800余柱の冥福を祈りました。前後町長が「尊い犠牲の上に築かれた現在の平和と繁栄を維持し、安心して暮らせる社会を作るため全力を尽くすことを誓います」と式辞、西田茂樹会津保健福祉事務所長、鈴木武喜議長が追悼の辞を述べた後、出席者らが献花をし、英霊を慰めました。

追悼式に続き、町遺族連合会主催の慰霊祭が開催されました。

## 水質日本一の復活を目指す

猪苗代湖岸でクリーンアップ作戦



松橋浜のごみを拾う猪苗代中学校の生徒と保護者

町と猪苗代湖環境保全推進連絡会が主催する猪苗代湖岸クリーンアップ作戦は8月5日、天神浜と松橋浜で開かれ、町民194人が湖岸のごみ拾いなどに取り組みました。

今年是一般参加者のほか、猪苗代中学校の1年生と保護者らが学年行事で参加。天神浜での開会式終了後、同校の生徒らは松橋浜を、一般参加者は天神浜を歩き、ごみを拾い集めました。

清掃活動終了後、佐藤善司さん(小平潟)を講師に、小平潟が生んだ室町時代の天才連歌師、猪苗代兼載についての座学が開かれ、参加者らは熱心に耳を傾けていました。

## 風評被害の状況などを確認

静岡県三島市の訪問団が町を視察



町役場を訪れた碓井議長(左から2人目)ら

静岡県三島市議会などの訪問団は7月23日、町役場を訪れ、前後町長と懇談しました。

碓井宏政三島市議会議長ら5人が前後町長と懇談し、東京電力福島第一原発事故の影響による本町の風評被害の状況などを確認。本町のほか耶麻郡内の各町村も視察し、被害の現状を把握しました。

三島市は、風評被害解消のため、同市で開催された物産展で本町の特産品やそばなどの販売などに協力。広報紙などでもPRしていただいています。

## 震災からの復興に役立てて

東京のみしまの森学舎が町に寄付



(左から)前後町長、板垣さん、遠藤さん、佐佐木さん

東京都世田谷区の「みしまの森学舎」は8月6日、町役場を訪れ、災害復興支援協力金として町に約12万円を寄付しました。

世田谷区の東深沢中と学区内の東深沢小、等々力小の区立3校で組織する「みしまの森学舎」は、震災後、生徒会や児童会を中心に募金活動を展開。東深沢中が本町でスキー合宿を開催していることから、浄財の一部が寄付されたものです。

贈呈式は同日、町役場で行われ、東深沢中生徒会の板垣拓磨副会長と総務の佐佐木英人さん、遠藤春菜さんの3人が前後町長に善意を手渡しました。





## スイマーたちが復興を支援

埼玉県の白石泳友会が町に寄付金



前後町長に善意を手渡す土井さん(中央)

学校法人中村学園の幼稚園児から大学生までが所属する埼玉県幸手市のスイミングスクール、白石泳友会(白石哲也校長)は8月22日、町役場を訪れ、復興支援金2万1241円を寄付しました。

寄付された浄財は、9月に埼玉県で開催される水泳大会に出場するメンバー17人とコーチらが募金箱に寄せたもの。同大会に出る選手らが合宿で本町を訪れることから寄付されたものです。

メンバーを代表して土井晴太郎さんが前後町長に善意を手渡すと、前後町長は「善意をありがとうございます。被災者のために有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

## 鉄人たちが己の限界に挑む

天神浜など舞台にトライアスロン



498人の鉄人たちが町内を駆け抜けました

第14回うつくしまトライアスロン in あいづは8月26日、猪苗代湖の天神浜でのスイム(1.5<sup>キロ</sup>)、天神浜から会津大までのバイク(40<sup>キロ</sup>)、同大周辺を走るラン(10<sup>キロ</sup>)の51.5<sup>キロ</sup>のコースで開催され、鉄人たちが自らの限界に挑戦しました。

昨年は東日本大震災などの影響で町内だけで開催されたこの大会。今年は猪苗代、磐梯両町と会津若松市の1市2町にまたがるコースに戻り、全国から過去最多の498人が出場しました。

レースにはロンドン五輪トライアスロン女子日本代表の選手らも応援に駆け付け、選手たちに笑顔で声援を送っていました。

## 団員みんなで町をきれいに

猪苗代スポーツ少年団が清掃活動



町役場周辺のごみを拾う団員と保護者ら

猪苗代小学校の児童らで構成する猪苗代スポーツ少年団は8月22日、清掃活動を実施しました。

猪苗代小学校に集まった1年生から6年生までの団員約80人は、3班に分かれて清掃を開始。保護者らと一緒に同校や町役場の周辺、商店街などを歩き、ごみを拾い集めました。

サッカー部の渡辺北斗さん(猪苗代小5年)は「たくさんのごみが落ちていた。拾ってきれいになって気持ち良かったです」と、奈良部桜土郎さん(同3年)は「ごみを捨てると地球が汚れるので、絶対にポイ捨てしません」と話しました。

## 今後のまちづくりのために

都市計画道路見直し検討委が報告



前後町長に報告書を手渡す佐藤委員長(左)

町都市計画道路見直し検討委員会(佐藤正人委員長)は8月24日、前後町長に検討結果を報告しました。

同委員会は未着手の都市計画道路について、時代に即した計画にするため、4回にわたり会議を開催。報告では、検討した15路線について、おおむね町案のとおりとした上で、南北に比べ東西方向の整備が極めて遅れているとして、本町線などの早期整備を進めることなどが付帯意見として出されました。

報告を受け、前後町長は「検討結果を踏まえ、早く整備を進めていきたい」と述べました。

## 町長杯をかけて熱戦を展開

グラウンドゴルフ大会開催される



楽しみながらプレーする参加者ら

第6回グラウンドゴルフ町長杯は8月30日、亀ヶ城公園みんなの広場で開催され、選手らが熱戦を繰り広げました。

大会には猪苗代町宝の山グラウンドゴルフ協会(小林元一会長)の会員ら54人が参加。選手らは「マンホールの上をねらって打ってみろ」「おー、うまい」と仲間にアドバイスや声援を送りながら、楽しそうにプレーしていました。

主な成績は次のとおりです。

**男子の部** ①田上晃②松江宏良③五十嵐忠行

**女子の部** ①山口丈子②小池亜子③長島吉子

## 東軍殉難者の御霊安らかに

戊辰戦争の激戦地母成峠で慰霊祭



慰霊碑の前で剣舞を奉納する吾妻小の児童

戊辰戦争の激戦地、母成峠(ぼなりとうげ)の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は8月21日、母成慰霊碑前で執り行われ、母成弔霊義会会員や殉難者の子孫など約30人が出席しました。

仏事に続き、母成弔霊義会の橋本彦一(ひこいち)会長が祭文を読み上げ、前後町長が弔辞を述べた後、参列者が焼香して殉難者の冥福を祈りました。

慰霊祭後、吾妻小学校の5年生の児童9人が白虎隊の剣舞を奉納し、戦死者の霊を慰めました。

この慰霊祭は、母成弔霊義会の主催で毎年開かれています。